

2面 北星海運株式会社 新造船就航
新日本海フェリー株式会社
新造船進水式

3面 和歌山県和歌山市と白浜町で
出前講座実施

3面 和歌山県和歌山市と白浜町で 出前講座実施

3面 和歌山県和歌山市と白浜町で 出前講座実施

船員しんぶん

◆ホームページアドレス <https://www.jsu.or.jp> ◆Eメールアドレス kaijin@jsu.or.jp
全日本海員組合発行 第3104号 (昭和25年8月24日第三種郵便物認可)

2025年(令和7年)
12月15日
本紙は毎月5・15・25日發行

本紙は毎月5・15・25日發行

〒106-0032 東京都港区
六本木 7 丁目15番26号
全日本海員組合本部
発行人 斎藤 洋
TEL 03-5410-8329
FAX 03-6910-5339
定価 1部 50円
組合員の購読料は組合費に含まれます

定価1部50円
組合員の購読料は組合費に含む

関東地区 内航船社代表者との懇談会を開催

海技人材をいかに確保するかがテーマ



懇談会のようす(左が組合側、右が会社側)

求められている。本日は、内航海運の現状や船員確保育成について各社の現状や問題などの報告説明を受け、忌憚のない意見交換を行い、実りある会議にしたい」とあいさつした。

続いて会社側を代表し、田和志船主団体内航労務協会会長（NSユナイテッド内航海運株式会社代表取締役社長）が「国内物流の4割を担う内航海運は、後継者不足問題において非常に厳しい状況に置かれている。各船社の企業努力で、情報通信インフラや居室設備の改善など、船員にとって働きやすい環境づくりに取り組んでいる。しかしながら、諸物価の高騰や、輸

・環境▽船員養成施設の定員減について▽連立政権交代に対する期待▽違法なりクルト業者について一など、各の現状と課題について報告問題提起がなされた。

また各社から、低軌道衛通信スター・リンク設置による若手船員定着率への影響や女性船員の居住環境についてなど、各社の取り組みに対する意見が多く出され、労使忌憚のない意見交換を行った。最後に松浦組合長が、活発意見交換ができ、次年度以降も本懇談会を継続して開催ていきたいとの考えを伝えていきたいとの考え方を述べた。

『 へし降な、です、て、る星 や社「に貢備

はじめに松浦満暉組合長が
混迷する世界情勢、現在の国内輸送の景況などに触れた上で「少子高齢化が急速に進む中で、喫緊の課題である後継者確保育成や海技人材をいかに確保するかがテーマとなつてきている。また運賃や用船料についても議論がなされており、国に対して働きかけを強める必要がある。さらに、船員の働き方改革についても議論がなされており、船員の学習環境改善に向け、労使一体となり取り組んでいく」と述べた。

船社を取り巻く環境は非常に厳しいものとなつてゐる。本日は労使の関係を超えて、現在内航海運が置かれている問題について共通認識を図り、有意義な懇談会にしたい」とあいさつした。

懇談会では「内航海運の現状と課題および船員の確保育成など」を議題として、意見交換を行い、各船社からは▽新規・中途採用者の定着率▽各社の状況▽船員の働き方▽スターリングの設置状況▽女

11月26日、海員組合関東地方支部3階大会議室で、内航船社各社代表と組合代表者による懇談会を開催し、会社側は内航船社は19社と船王団体内航労務協会の計39人、組合側からは松浦満晴組合長以下17人が出席した。懇談会では「内航海運の現状と課題および船員の確保育成など」を議題として意見交換を行い、若手船員の定着率や、女性船員の居住環境への取り組みなどについて意見交換を行った。

内航海運の現状と課題で意見交換



中国地区 内航海運懇談会

若年船員の希望に応え定着率を改善したい

中国運輸局からは「中国運輸局の船員政策」について、船員の求人・求職状況と雇用促進の取り組みが報告された。組合からは、各地区での体験乗船や若年船員の確保・育成への取り組みについて報告し、意見交換の中で共通認識を図った。

最後に、海運業界が抱える諸課題に対し、官学労使が協力して取り組むことを確認し、中国地区内航海運懇談会を終了した。

は低く、改善するためにも、学生に対し船員という職業を広める活動が必要である。▼船員職業への関心を持つてもらつたためにも、早期に小学生を対象とした啓発やイベン
トなど、さまざまな取り組みが必要である。

▽船員不足解消のため未経験者の採用も積極的に行い、免状取得をさせている。
▽若年船員の希望に応えることで定着率を上昇させ、船員の育成に努めていきたい。

△会社と学生が対話できる機会が少なく、運輸局には学生と直接話ができる場を増やして欲しい。

行い、今後の課題解決に向けた活動につなげていきたい」とあいさつした。

次に岡本信也中国地方海運組合連合会会長と竹谷浩国土交通省中国運輸局海事振興部部長があいさつし議事に入り、内航海運各社と各船員教育機関から現状報告が行われ、意見交換を行った。



白浜町立白浜第一小学校と白浜町立白浜第二小学校合同で出前講座

和歌山県・和歌山市と白浜町 中学校と小学校、4校で 出前講座



白浜町立白浜中学校

4つの学校で出前講座を実施

- ①白浜町立白浜中学校
- ②白浜町立第一小学校
- ③白浜町立第二小学校
- ④和歌山市立有功東小学校

11月26日、和歌山県白浜町

の白浜町立白浜中学校2年生を対象に「船の学校紹介」として出前講座を実施した。また同日、白浜町立白浜第一小学校と白浜町立白浜第二小学校の5年生を対象に出前講座を実施し、翌11月27日には和歌山市立有功東小学校5年生を対象に「日本と世界の貿易」として出前講座を実施した。これまで毎年、白浜町立第一・第二小学校で出前講座を開催してきたが、白浜町立白浜中学校と和歌山市立有功東小学校では初めての試みとなつた。

11月26日前半、講座を実施した白浜町立白浜中学校に在籍する2年生には、小学生の頃、出前講座と体験乗船を経験した白浜町立白浜第一・第二小学校出身の生徒もいた。第1回の出前講座は、森健輔(新日本海フェリー株式会社職場委員、鈴木孝二NX海運株式会社職場委員)と畠中智尋(新日本海フェリー株式会社職場委員、鈴木孝二NX海運株式会社職場委員)と世界の貿易」をして講話を実施した。講話終了後、小林泰之(大阪支店長)が、現在の鳥羽商船高等専門学校のカリキュラムおよび寮生活について話をした後、質疑応答に移り、生徒から「船員の給料」「船内生活や乗船期間」などについて質問があった。

11月26日午後からは、白浜



和歌山市立有功東小学校 講師:畠中智尋職場委員



和歌山市立有功東小学校 講師:鈴木孝二職場委員(中央)



和歌山市立有功東小学校 講師:左から森健輔職場委員、小島英悟在籍専従執行部員



白浜町立白浜第一小学校



白浜町立白浜中学校



和歌山市立有功東小学校

りともいい勉強になった」とあいさつがあり終了した。
11月27日は、和歌山市立有功東小学校の5年生を対象に初めての出前講座を開催し

た。2クラスに分かれて「日本と世界の貿易」について講話を実施した後、講師を担当した森健輔(新日本海フェリー株式会社職場委員)と、鈴木孝二(NX海運株式会社職場委員)と世界の貿易」をして講話を実施した。その後の質疑応答では、児童から「職員の仕事内容の違いについて」「船で働くにはどのようにすればいいのか」などの質問があつた。その後の質疑応答では、児童から「職員の仕事内容の違いについて」「船で働くにはどのようにすればいいのか」などの質問があつた。特に船員の給料については児童にはどのようすればいいのかなどの質問があつた。特に船員が興味津々で、講師の説明に驚く様子も見られた。

最後に、白浜町立白浜第一小学校の生徒代表から、開催に対する謝意と「船舶が日常生活に重要であることが分か





琴平海洋博物館（海の科学館） 冬休み特別展示

2025 12/17(水) ~ 2026 1/12(月・祝)

キミも船員さんになろう！

冬休み期間限定で小中学生向けの特別展示が開催されます。外航海運の重要性や外航船員の仕事の魅力、船員になるための進路など、楽しみながら社会科・キャリア教育に役立つ内容となっています。

船員さんの仕事って？



外航船員になるには…



琴平
海洋博物館で
お待ちして
います！



入館料割引

博物館の受付の人に合言葉「船員さんになりたい！」と声をかけていた
だくと入館料が割引となります。

大人（一般）通常 500 円→割引料金 **400 円**
中学生・高校生 通常 350 円→割引料金 **280 円**
小学生 通常 250 円→割引料金 **200 円**

※本特別展示開催期間中のみ
有効です。



琴平海洋博物館（海の科学館）
9:00～17:00（最終入館は16:30まで）／年中無休
TEL：0877-73-3748 TEL：0877-73-3116
E-mail／info@kotohira.kaiyohakubutukan.or.jp
〒766-0001 香川県仲多度郡琴平町953番地

船員養成教育機関への進学を推奨する広報活動『J-CREWプロジェクト』や「海が好き!」が、外航船員や外航海運に関する特別展示「キミも船員さんになろう!」を開催します。会場は香川県の琴平海洋博物館（海の科学館）、会期は令和7年12月17日（水）～令和8年1月12日（月・祝）です。

「海の神様」として名高い金刀比羅宮の麓にある琴平洋博物館に、冬休みの機会を利用して足を運んでみてはいかがでしょうか。《外航部》

の小学校にも来場を呼び掛けています。展示においては、外航海運の重要性や外航船員の仕事の内容、外航船員になるための主要なルートなどについて、パネルや動画、クイズアプリなどを用いて学習できる内容となっています。

J-CREW
プロジェクト

